



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、7-16 Sugawara-cho、Kawagoe、Saitama 350-0046 Japan



## 川越ワイズメンズクラブ会報

N o. 16-12

6月号

発行 2015年6月20日

Chartered 1998

会長 吉野 勝三郎

クラブ会長主題 「ワイズとYMCAに連なることの誇りと喜びを持って」

副会長 林 京二

国際会長主題 「Talk less, Do more—言葉より行動を」

松川 厚子

アジア会長主題 「Start Future Now—未来を始めよう、今すぐに」

会計 吉田 公代

東日本区理事主題 「With Pride and Pleasure—誇りと喜びを持って」

書記 森下 千恵子

### 6月

エリヤは、わたしたちと同じような人間でしたが、雨が降らないようにと熱心に祈ったところ、3年半にわたって地上に雨が降りませんでした。しかし、再び祈ったところ、天から雨が降り、地は実をみのらせました。ヤコブの手紙5章17節-18節

Elijah was a man just like us. He prayed earnestly that it would not rain, and it did not rain on the land for three and a half years. Again he prayed, and the heaven gave rain, and the earth produced its crops. James 5:17-18

### 月例会のお知らせ

埼玉県内3クラブ合同例会として開催されますので、早めにお知らせします。

日時：7月18日(土) 午後6:00～

場所：さいたま市浦和区高砂3-12-24 小峰ビル

電話：048-824-1965

埼玉県庁の近くで、埼玉クラブ小峰理孝メン所有のビルです。

当日は、新しい関東東部部長のクラブ訪問日です。多くの会員の出席をお願いします。

### 5月定例会報告

山本 剛史郎

### 2015年5月の統計(5月23日)

在籍11名 出席者6名 出席率55%

### 6月例会のお知らせ

日時：6月27日(土) 午後4:00-6:00

場所：埼玉YMCA 川越センター

議題：2015/2016年度 計画

卓話：東新部部长、次々期国際・交流事業主任、太田勝人氏

テーマ：「日本の学童教育に対する提案—娘の海外教育の経験から」(約30分で、レジメはありません。)

この年度は、2016/2017年度の利根川恵子理事の準備年として、非常に重要な年となります。また、埼玉YMCAの支援でも重要な課題があります。どうぞ、皆さんの出席をお願いいたします。

なお、例会前には、午後2:00から松川厚子さんを講師に、フラワーアレンジメント教室も開催されます。

5月23日(土)、川越クラブの例会において、私の職場の話「川越キングス・ガーデン 介護の現場から」という題で話をさせていただきました。

キングス・ガーデンはアメリカ・シアトルにあるキングス・ガーデン(現在はクリスタ CRISTA)をモデルに、1981年に茨城県常総市(旧・水海道市)に筑波キングス・ガーデン(ケアハウス)ができたのが始まりです。キリスト教精神に基づいた老人ホームの運動が全国に広がり、1991年に川越キングス・ガーデンが設立されたのを含め、全国に73の日本キングス・ガーデン連合加盟・友好関係団体があります。埼玉県にも川越キングス・ガーデンの隣に主の園(ケアハウス)があり、他にも草加と川口にそれぞれ特養とケアハウスがあります。

キングス・ガーデンの理念は「神に仕えるように、利用者に仕える」、「夕暮れ時に、光がある」(旧約聖書・ゼカリヤ書14章6-7節)、「砂漠を主の園のようにする」(イザヤ書51章3節)にあらわされています。人生の終わりが最も幸せであったと言われるように、また高齢者にとって砂漠のような社会に

あって愛を持って仕えることによって主の園（楽園）のようにしていきたいと考えています。そのような意味を込めて「キングス・ガーデン」（王の庭）、「主の園」というような名前にしています。

川越キングス・ガーデンは1991年5月20日に設立され、現在、特別養護老人ホーム（特養）、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプ、居宅サービスなどを行っている。私は昨年（2014年）4月に、デイサービスから特養に異動になりましたが、その特養には現在80名の方々が入所されて暮らしています。その勤務はシフト制で、A勤（7:00～16:00）、B勤（8:00～17:00）、R勤（10:00～19:00）、E勤（12:30～21:30）、C勤（17:00～翌10:00）とバラバラの勤務になっています。そこにお年寄りが暮らしており、それを介護・介助する訳ですから、24時間、365日、職員がいなければならないため、このような不規則な勤務になっています。この中でC勤というのはいわゆる夜勤で時間も長いし大変だと思われがちですが、一回で2日分の働きになり、それだけ休みも増えるので職員に意外と好まれています。

その時に質問ででしたが、「物忘れ」と「認知症」は全く別のもので、最近、物忘れが激しくなったと感じていても、大きく心配しなくとも大丈夫です。ある記事からの引用になりますが例えば、誰かに今朝何食べたか聞かれたとします。加齢による物忘れなら、メニューが浮かんでこなくて、何だったかなと考えることがあります。でも「卵は食べた？」などヒントをもらうと、「そうそう、目玉焼きを食べた」など思い出すことができます。でも認知症の物忘れでは、「朝ごはんなど食べてない」となるのです。メニューではなく、食べたこと自体を忘れてしまうのです。加齢による物忘れは、記憶した物をしまっておく引き出しが中々開かないだけで、引き出しの中には記憶したことが残っています。だから、引き出しを開けることさえできれば思い出せるのです。でも認知症の場合は、記憶の引き出しの中に記憶が残っていません。だからいくら引き出しを開けても何も思い出せないのです。

また、職員はどんな気持ちで働いているのかという質問がでしたが、一言では語れない、難しい問題です。もちろん、施設や職員によって考え方や気持ちは様々ですが、少しだけ私の気持ちを話させてもらいました。まず基本にあるのは身体的に不自由な方でも認知症などの方でも、喜怒哀楽の感情は持っています。それらの感情面を豊かにしていきたいと考えています。ただ毎日をぼんやりと過ごすのではなく、少しでも楽しいこと、面白いことがあるように、またそのような雰囲気を作り上げていくのが介護の重要な仕事だと思います。また、川越キングス・ガーデンの特養では毎年、20人くらいの方が亡くなりますが、いわゆる「看取り」を行っており、

亡くなる方のほとんどがキングス・ガーデンの施設内で亡くなります。つまり病院での積極的治療を行わないのです。死そのものは誰も止めることはできない現実ですが、飛行機がゆっくりと着陸、ソフトランディングするようにすることも心がけています。

## 大役を果たし、次へステップ～東日本区大会を終えて～

利根川 恵子

2015年6月6日（土）午前、厚木市文化会館で行われた代議委員会、第20回東日本区大会を、川越クラブがホストクラブを務め、川越で開催することが承認されました。同じ時間に開催されていた「メネットアワー」の最後に飛び込み、加藤真子メネット委員長から代々受け継がれている重厚な聖書を引き継ぎました。さらに、大会2日目の7日（日）の最後のセレモニーである引き継ぎ式で渡辺隆理事から次期理事バッジを、加藤真子メネット委員長からはメネット委員長のバッジを着装いただきました。2015年6月6日（土）～7日（日）の2日間にわたる第18回東日本区大会のプログラムの中で、来期は次期理事とメネット委員長を務めること、2017年には川越クラブがホストとなって、第20回東日本区大会を川越で開催することが決まり、もう後戻りはできない、最善を尽くし任務を全うしようと心に誓いました。

一方で、次期理事・メネット委員長の大役の前に、本東日本区大会では、私は国際・交流事業主任としての大役を果たさなければなりません。1日目は「国際・交流事業活動報告」、分科会、2日目は国際・交流事業表彰発表です。特に分科会は、各部国際・交流事業主査が、会場設営、ポスターや資料の掲示、殺虫剤付き蚊帳の設置、パワーポイントの編集など、すばらしいチームワークを発揮し、万端の準備を整えて実施することができました。詳しい内容については、別途報告がありますので、ここでは省略いたしますが、多くの方にご参加いただき、国際・交流事業の内容について理解を深める、実りある時間が持てたことを感謝しております。



国際・交流事業主任としての責務を、田中博之理事、他の事業主任のみなさま、各部の部長、国際・交流事業主査、東日本区事務所の神保所長、小山所員、そのほか大勢の方々のご支援とご協力で、何とか果たすことができました。川越クラブのみなさまにも、いつも無理なお願いを聞いていただき、ご協力いただいたことに対して心からお礼を申し上げます。

一つの大役を果たし、7月にはよいよ次のステップへと歩み出します。次期理事事務局として、さらに東日本区大会ホストクラブとして、クラブ内にも様々な動きが出て参ります。微力ながら、ワイズダム発展のために全力投球でまいりたいと存じますので、引き続き、ご支援をよろしく願いいたします。



再会を喜ぶ笑顔！（左から）北九州クラブ・松田四治会長、上村眞智子直前交流主任（熊本ジェーンズ）、中村次郎ワイズ（福岡中央）

## DBC・北九州クラブ、松田会長とうれしい再会！～西日本区大会報告～

利根川恵子

第18回東日本区大会に続いて、翌週の6月13日（土）、14日（日）の第18回西日本区大会に参加しました。13日は午前中が仕事でしたので、ハイアット・リージェンシー大阪の会場到着が5時過ぎになってしまい、懇親会からの参加となりました。

770名に及ぶ参加者が一同に会した懇親会は、会場に入っただけで圧倒される熱気と笑顔に溢れていました。国際大会やアジア大会への参加、DBC締結式への列席など西日本区の方々とお会いする機会も増えたことから、西日本区大会でも顔なじみの方がたくさんいらして、再会を楽しみました。特に、わがDBC・北九州クラブの松田四治会長と一年ぶりの再会を果たすことができ、お互いに手を取り合って喜びました。また北九州クラブと川越クラブの「お仲間」でもある、上村眞智子・直前西日本区交流主任も交えて、昨年の西日本区大会でDBCを締結してから早一年が経ったことをしみじみと語り合いました。是非今年には川越から北九州を訪問したいと強く感じる再会でした。ステージ上の画面に、川越・芋膳における交流会の写真がアップされ、驚くとともにたいへん懐かしく、あの猛暑の中の交流を思い出しました。この次、翌日、大会2日目の主任報告では、川本龍資・国際・交流主任から、DBC交流の実績として北九州クラブの川越訪問が報告されました北九州クラブのメンバーとお会いできるのは、8月の京都アジア大会です。遠くの親戚と会うような、うれしい再会が待ち遠しく感じられます。

西日本区は、とにかくメンバーが多く、しかも若いメンバーが多いのが何ともうらやましい限りです。いつ参加してもエネルギーを感じます。このエネルギーを東日本区にもいただいて、メンバーの増加、若返りを目指すことが、これからの私の課題でもあります。

## YMCA 報告

### 【報告】

- 5/21(木) 聖書研究会
- 5/23(土) 放課後等放デイ特別プログラム「おにぎり作り」@川越センター
- 5/24(日) トースター5月活動/小江戸 Y キッズ活動「葛西臨海公園」
- 5/30(土) 放課後等デイ特別プログラム「世界を知ろう」@川越センター
- 6/6(土) 放課後等デイ特別プログラム「牛乳パックでコマ作り」@川越センター
- 6/7(日) トースター6月活動/小江戸 Y キッズ活動「鉄道博物館」
- 6/13-14(土日) クローバー&グリーンキャンプ@藤野芸術の家

### 【予定】

- 6/18(木) 聖書研究会
- 6/20(土) 放課後等デイ特別プログラム「おにぎり作り Part2」@川越センター
- 6/27(土) 放課後等デイ特別プログラム「焼肉&パティンター」@川越市内
- 7/12(日) トースター7月活動/小江戸 Y キッズ活動「川遊び」@小川町河川敷

## <夏休みの子ども短期講習会（水泳・体操・英語）&キャンプのご案内>

今年はキャンプが例年以上に申し込み多数となっており、既にキャンセル待ちも出ています。ご希望のプログラムは、お早めにご予約ください。

- ◆水泳・体操子ども短期講習会（3歳～小6／所沢）
- ◆キャンプ（年少～高3／1泊2日～3泊4日）
- ◆アクティブスクール（年中～小6／5日間通い／所沢）
- ◆English Summer Camp（年長～小6／1泊2日）
- ◆English Summer School（年少～小6／浦和・所沢）
- ◆English PreSchool（2～3歳／3日間通い／浦和・所沢）

## <夕方以降の事務所体制について>

昨年9月より川越センターで始まりました放課後等デイサービスは、現在36名の子どもが登録し、毎週YMCAへ通って来ています。常勤職員として久篠・河合がおりますが、夕方以降の時間帯は、放デイのクラスの都合等により職員が電話に出られない時間帯もあります。その際、放デイの児童発達支援管理責任者として来てくださっている町田安子先生や入江悦子先生、指導員として来てくださっている小関京子先生が電話対応される場合もあります。ご理解いただけますようお願いいたします。

4月から川越YMCAでお世話になっております河合京子さんにご挨拶をいただきましたので、掲載させていただきます。🌸

『4月より再び川越センターに異動となりました河合今日子です。』

川越ワイズメンズクラブの皆さまには、ボランティアリーダーの頃から大変お世話になり支えていただきました。

当時学生だった私は、ボランティアという言葉に惹かれ、YMCAと出会いました。リーダー会がある日はバイトも休み、夜遅くまで年齢も性別も出身も違うリーダー達と、子ども達一人ひとりについて語り合いました。ときには、話し合いが思うようにならずにため息がでたり、リーダーが集まらずに一人リーダー会だったりつらいこともありました。そんなときは、当時の佐藤館長が差し入れをしてくださったり、ワイズの方々とお話したりすることが楽しみでした。卒業後はワイズの方々にもタイでのボラ

ンティア活動を支えていただき本当に感謝しております。

あの頃から数十年がたち結婚を経て、今では小2の生真面目な息子と私よりもしっかり者の年少の娘を持つ母親となりました。限られた時間の中で思うようにできないこともありますが、皆さまのお力をお借りしながら今後も地域に根ざすYMCAとして多様な活動を拡げられるよう頑張りたいと思います。川越ワイズメンズクラブの皆さま、今後とも埼玉YMCA川越センターをよろしくお願いいたします。』

＝編集後記＝

通常、年の始まりは1月から、仕事や学校は4月から始まります。最近は海外に合わせて大学を9月入学にしようという話題もありました。

なぜか、ワイズメンズクラブは7月から新年度になります。ブリテンの編集を担当して一年経ちました。これが今年度最終号となります。

色々反省しきりです。

また、年度を新たにするにあたり大きな課題があります。メンバー力を合わせて頑張りましょう。

